

## 国際平和の実現に向けた決意

2月末にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が開始され、報道によると民間人も含めた多数の死傷者が出ています。亡くなられたすべての皆様に対してご冥福をお祈りします。負傷された方、避難せざるを得ない方など、今もご苦労されている多くの方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今後は、戦況の長期化による国際社会の一層の混乱も懸念されます。私たち航空連合は「国際社会に対する決意」として、以下を綱領に掲げて運動を推進しています。

「わたしたちは、広く世界に視野を拡げ、平和の実現をめざすとともに、航空関連産業に働く労働者との連携により国際交流を推進し、国際的な労働運動の前進に貢献します。」

人々が安心して移動、観光することや、迅速な物流を実現することは国際的な平和の上に成り立っており、安全な空の航行が極めて重要です。現在も職場の多くの仲間が、様々な制約を受けながらも欧州との航空路線を中心に人流、物流を支え、公共交通としての責務を懸命に果たしています。

国際平和に対して一人ひとりができることは限られるかもしれませんが、一方で、私たちの産業が国際的に果たしている役割や置かれている状況を正確に認識し、仲間とともに力を合わせて、航空連合綱領の実現に向けて取り組むことは、社会から必要とされる産業の責任として重要だと考えます。

航空連合として、加盟組合の判断を尊重したうえで、連合や交運労協とも連携して、国際平和の実現に向けて何ができるかを考え、行動していきます。

困難が続きますが、航空連合ビジョン「いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業」の実現に向けて、産業に集う仲間が心と力を合わせていきます。

2022年3月10日

航 空 連 合  
会 長 内 藤 晃